

令和3(2021)年

5月1日

第239号 毎月発行

編集 公民館だより編集室  
発行 西東京市公民館

毎月第4月曜日は休館日です

西東京市

# 公民館だより

電話での講座申し込みは、平日9時～17時をお願いします。

来館時・講座参加時のお願い

- ・自宅での事前検温、マスクの着用、入館時の手指消毒にご協力をお願いします。
- ・当日、平熱を超える発熱や体調不良がある場合は、来館をご遠慮ください。

柳沢公民館 柳沢1-15-1 ☎042-464-8211 kouminkan@city.nishitokyo.lg.jp  
 田無公民館 休館中、問い合わせは柳沢公民館へ tana-kou@city.nishitokyo.lg.jp  
 芝久保公民館 芝久保町5-4-48 ☎042-461-9825 shiba-kou@city.nishitokyo.lg.jp

谷戸公民館 谷戸町1-17-2 ☎042-421-3855 yato-kou@city.nishitokyo.lg.jp  
 ひばりが丘公民館 ひばりが丘2-3-4 ☎042-424-3011 hibari-kou@city.nishitokyo.lg.jp  
 保谷駅前公民館 東町3-14-30 ☎042-421-1125 ekimae-kou@city.nishitokyo.lg.jp



講師とパネリスト3人による公開座談会では、ひばりが丘公民館の30周年を振り返り、地域で果たしてきた役割やこれからの可能性について意見交換をいたしました。その一部を紹介します。新藤 西東京市公民館の魅力として、まず一つ目に感じるのは、都市における集いの場として非

常に活発な活動があるという点です。人間関係が希薄で集まる場所も少ない、という都市のイメージを覆すものがあります。二つ目は、公民館から地域が見え、ここに暮らしているという実感が持てる場所だということ。三つ目は、そうしたことを考える人の輪と蓄積があることです。この座談会もそうですが、西東京市の公民館は、学びを次の世代につなげていくという思いが強いと感じます。また多世代交流の拠点としてロビーの賑わいがあり、支える職員力も大きいと思います。

森 私たちの命には限りがありますが、公民館での学び・活動はずっと続いていきますし、続いていかなければいけないと思います。今コロナ禍で難しくなっています。ですが、それによって精神的な面を助けるような人とのつながりが生まれ、会って話をしたり、音楽を奏でたりそれを聴いたりといったことを通して、いろいろな能力を身に付けながら交流し合うことのできる拠点であってほしいと思います。

西原 今年1月の緊急事態宣言では公民館の開館時間は夜8時までとなり、休館にはなりませんでしたが、利用する、しないは自由です

新藤 今このコロナ禍で、世界中が社会教育活動についてさまざまな模索を行っています。そこで見えてきたことの1つは、私たち、特に弱い立場におかれた人たちの命と暮らしを守る学習や活動が、世界中に広がっていることでした。パネリストのお話にもありましたが、社会教育は不要不急なものではないということ。学ぶことは権利であり、私たちが生きていくために欠かせないものです。今、それがますます大切になっていくのではないのでしょうか。それも踏まえた上で、公民館のこれからを「つなぐ・まなぶ・つながる」というキーワードで考えてみたいと思います。

【講師】  
 ◎新藤 浩伸 (東京大学大学院准教授「パネリスト」(利用団体より))  
 ◎森 忠 (ひばりが丘ギターアンサンブル代表)  
 ◎西原 みどり (フルーツパフェひばり代表)  
 ◎小沼 純子 (WAHINE代表)

「ひばりが丘公民館の宝物をたくさん見せていただいた」  
 なお、今回の詳細な報告も含めた「ひばりが丘公民館30周年記念誌」を現在編集作成中です。完成しましたら改めて公民館だよりでお知らせします。

## 公開座談会 「つなぐ・まなぶ・つながる」 公民館の未来へ 令和3年1月31日実施

「学ぶことは権利であり、  
私たちが生きていくために欠かせないものです」

が、私たちが公民館に来ることは不要不急なことではないと思っています。集う場所の存在が、生活の中でいかに大事であるかしみじみ感じます。職員に何でも相談でき、「つながり」をもった活動をしている実感に支えられています。このような形が続いてくれることを望んでいます。

小沼 昨年春の緊急事態宣言で公民館が臨時休館となり、誰も集まらなくなったことで、公民館という場所がすごく大事であることに、私も含めみなさん気付かれたと思います。今、利用時間の制限はありますが、幸いにも私たちは活動させてもらっています。仲間と直に会って話すことの大切さを改めて実感しています。

最後に「つながる」こと。例えば人と会って話すという当たり前のことによっても私たちは落ち着いていられるのだと思います。孤立し、バラバラになってしまうと、人間としての落ち着きが社会からなくなってしまうのではないかと感じています。つながることで落ち着きを感じ、誰でも集まれる空間としての公民館をつくること、これがとても大事なのだと思います。

しかしそこには多くの苦勞がありました。部屋の定員や利用時間の制限によって、練習が思うようにできない団体や、高齢のメンバーが多く感染への危惧から活動の再開がなかなかできない団体も複数あったこと、また発表を記録し上映するにあたって使用する楽曲の著作権使用料等を調べるのに手間取ったこと、さらに撮影直前に2回目の緊急事態宣言が発令され参加を辞退せざるを得ない団体が出てしまったことなどです。

ひばりが丘公民館は、旧保谷市時代の平成2年(1990年)4月に開館し、昨年4月に30周年を迎えました。新型コロナウイルスの影響による制約がある中、できる範囲の記念事業として「公開座談会」と、ビデオ上映による「ひばりが丘フェスティバル」を開催しました。

昨年(2020)のことは、このコロナ禍では、今までのような密な接触はできませんが、適度な距離を保ちながら集い楽しむことがあっていいのではないかと思います。次に「まなぶ」ことは、私たちが人間らしく生きるために大事なことです。そのためには場所が必要。学びは一人できるとは限らず、学びは一人ではない部分もたくさんあります。私たちは共感する力を持っていきます。しかしそれは顔を合わせない状況においては、なかなか生まれないものだと思います。

「ビデオ上映による」第12回ひばりが丘フェスティバル  
今こそつなげようひばりの輪  
令和3年3月27日実施

「ビデオ上映による」第12回ひばりが丘フェスティバル  
今こそつなげようひばりの輪  
令和3年3月27日実施

「ビデオ上映による」第12回ひばりが丘フェスティバル  
今こそつなげようひばりの輪  
令和3年3月27日実施

「ビデオ上映による」第12回ひばりが丘フェスティバル  
今こそつなげようひばりの輪  
令和3年3月27日実施

## 学びを未来へ、コロナ禍で見える公民館の役割

### 報告 ひばりが丘公民館開館30周年記念事業

「ビデオ上映による」第12回ひばりが丘フェスティバル  
今こそつなげようひばりの輪  
令和3年3月27日実施

「ビデオ上映による」第12回ひばりが丘フェスティバル  
今こそつなげようひばりの輪  
令和3年3月27日実施

「ビデオ上映による」第12回ひばりが丘フェスティバル  
今こそつなげようひばりの輪  
令和3年3月27日実施



柳沢 子育て中の外国人女性のための  
日本語講座 **保育付き**

柳沢公民館で日本語を勉強する講座がはじまります。

幼い子をもつお母さんも勉強できます。お母さんが勉強している間、子どもたちは、保育室で友達と遊びます。

時 5月14日～令和4年3月12日 毎週金曜日  
10時～11時45分

※夏休みと冬休みがあります。

場 柳沢公民館

対 西東京市に住んでいる子育て中の外国人女性  
定 20人 (申込多数の場合は保育室に子どもを預ける人優先)

保 6か月以上小学校に入るまでの乳幼児9人

¥ 麦茶代は1回30円

申 やぎさわこうみんかん き  
柳沢公民館へ来てください。  
電話やFAX、メールでも受け付けます。  
電話：042-464-8211  
FAX：042-464-8212  
メール：kouminkan@city.nishitokyo.lg.jp

“Japanese course for foreign mothers who are bringing up children” (a nursery is available)

Yagisawa Kouminkan will hold the Japanese course for foreign mothers who are bringing up children.

- ◆Schedule : Every Friday 10:00-11:45
- ◆Place : Yagisawa Kouminkan
- ◆Application : You can apply directly, or contact us by fax or e-mail.  
Telephone 042-464-8211(Japanese only)  
Fax number 042-464-8212  
E-mail kouminkan@city.nishitokyo.lg.jp

面向外国人の日本語講座招生

時間：毎週金曜日 上午 10:00～11:45  
地点：柳沢公民館

【特色】

欢迎带着幼儿的母亲参加。  
孩子可以在保育室跟小朋友们一起玩耍，母亲可以安心的学习。当然，也可以一个人参加。

【咨询方式】

柳沢公民館  
邮箱：kouminkan@city.nishitokyo.lg.jp

外国人を 위한 일본어강좌 참가자 모집

시간 매주 금요일 오전 10시부터 11시45분까지  
장소 야기사와 공민관  
어린 자녀가 있는 엄마들을 위한 일본어 강좌입니다.  
엄마가 공부하는 동안 아이들은 보육실에서 친구들과 함께 놀 수 있습니다.  
물론 보육시설을 사용하지 않고 혼자라도 수업에 참가하실 수 있습니다.  
문의는 야기사와 공민관으로 연락해 주세요.  
이메일 kouminkan@city.nishitokyo.lg.jp

サークルから **催し物案内**

文学作家「カズオ・イシグロ」論  
～新刊『クララとお日さま』とは  
西東京風の会  
5月22日(土) / 13時半～15時半 / 保谷駅前公民館 / 講師：小林 カ / 定員35人(申込順) / 資料代200円 / 要申込・5月1日(土)から電話で

サークルから **会員募集**

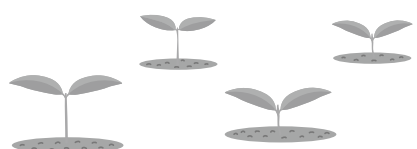
めいせいトリム (健康体操)  
月4回水曜日 / 13時半～15時 / 芝久保公民館 / 入会金500円・月額2,500円

住吉英会話サークル (初級)  
月4回水曜日 / 15時～16時 / 住吉会館 (ルピナス) ほか / 入会金3,000円・月額3,500円

柳沢修声会 (謡曲・仕舞)  
月4回月曜日 / 13時～16時 / 柳沢公民館 / 入会金2,000円・月額4,000円

能を知る会  
第2水曜日 / 10時～12時 / 柳沢公民館ほか / 月額1,000円

還暦野球西東京ジャイアンツ  
毎週火・金曜日ほか / 9時～11時 / 柳沢児童公園ほか / 月額500円 / 60歳以上対象



7月1日号の原稿締め切りは、5月20日(木)です。

**公民館市民企画事業**  
第2期申請受け付けが始まります

公民館市民企画事業は、市内の自主グループが企画・運営する事業を、審査の上、自主グループと公民館の共催事業として実施するものです。

この制度を利用できるのは、その年度の説明会に参加した自主グループです。3月開催の令和3年度第1回説明会に参加した自主グループは、第2期の申請ができます。

- 【申請期間】  
5月7日(金)～14日(金)  
※ただし、平日の9時～17時に限りです。
- 【調整会】  
日時：5月25日(火) 19時～  
場所：柳沢公民館
- 【実施期間】  
8月1日(日)～9月30日(木)

第2回説明会  
日時：6月16日(水) 10時～  
6月17日(木) 19時～  
場所：柳沢公民館  
※事前申込制。詳細は、公民館だより6月1日号をご覧ください。

**公民館運営審議会**

傍聴をご希望の方は、事前に申し込んでください。

時 5月19日(水) 18時半～  
場 柳沢公民館  
内 事業計画・報告について  
申 電話で柳沢公民館へ

電話での講座申し込みは、平日9時～17時をお願いします。  
メールでの講座申し込み方法  
アドレス：1面上部参照  
件名：講座名  
本文：氏名・電話番号・住所・年代  
※後日確認メールを送ります。届かない場合はお手数ですが、電話でお問い合わせください。

谷戸 子育て中の人のための講座  
ココロとカラダの  
パワーアップ講座 **保育付き**

ココロもカラダも栄養をつけてパワーアップしましょう。地域の子育て中の仲間と一緒に学びませんか。

時 5月27日～7月15日 毎週木曜日  
10時～11時45分  
※保育説明会 5月20日  
場 谷戸公民館  
対 市内在住の子育て中の保護者  
定 15人(申込多数の場合は抽選。保育付き講座に初めて参加する方優先)  
内 ・今日から実践！歯の健康法  
・コロナ禍だからこそ防災に手を抜かない！  
・免疫力を高めるカンタン薬膳(公開講座)※調理実習はありません  
・わくわくする人生はジブン次第！ ほか

芝久保公民館、ひばりが丘公民館の保育付き講座は公民館だより6月1日号でお知らせします。  
\*原則同時期に複数の保育を利用することはできません。

柳沢 ヤギフェスvol.10  
柳沢みんなの文化祭  
準備会を開きます

子どもからシニアまで、幅広い世代が楽しむ「柳沢の文化祭」、ヤギフェス。コロナ禍に対応した開催の仕方を一緒に考えませんか？

時 5月21日(金) 19時～20時半  
場 柳沢公民館  
対 柳沢公民館で活動している団体、市内で活動している団体・個人  
申 5月20日(木) 17時までに電話かメールで柳沢公民館へ

市ホームページをご活用ください！

今月号に掲載の講座一覧は、市ホームページでもご覧いただけます。詳細情報やチラシを掲載している講座もありますので、ぜひご確認ください。



講 【第2回】長谷川憲子(市内歯科医院歯科衛生士長)  
【第3、4回】あんどうりす(アウトドア防災ガイド・FM西東京の防災番組パーソナリティ)  
【第5回】植木もも子(管理栄養士・国際中医薬膳管理師)  
【第6、7回】田中由起子(メンタルトレーナー)  
¥ 240円(保育麦茶代・全回分)  
保 6か月以上就学前の乳幼児8人(1歳未満は3人程度)  
申 5月13日(木) 12時までに電話かメールで谷戸公民館へ  
※メール申し込みの場合は、氏名・電話番号・住所・年代・保育希望の有無・子の名前・子の生年月日・保育付き講座受講経験有無を明記してください。



おたのしみ川柳

今月のお題「連」

連なって歩く園児にホホ緩む  
「連れ合い」と感謝と愛を込めて呼ぶ  
子どもの日母子連弾背くらべ

さいま  
上田政和  
屋代節子

7月号のお題 「織」です

締切 5月25日(火)

編集室では、みなさまの投稿をお待ちしています。氏名・住所・電話番号を記入の上、お近くの公民館に郵送、メール、持参でお寄せください。